

TOPICS 花関所の郷・南清里フラワーパーク企業組合

新しいリフトカーが

運行開始

ACTIVE KUMIAI



机山に登る”新”鯉のぼり郷号

北杜市高根町の南清里フラワーパーク企業組合（長田正彦理事長・組合員48名）が北杜市からの指定管理者として運営している「南八ヶ岳花の森公園」は、国道141号線「道の駅南きよさと」の東側の机山の頂上あり、収穫体験やクラフト体験ができる公園として首都圏からの観光客や小中学

校の校外体験教室として賑わっている。公園へのアクセスは、道の駅からリフトカーに乗って標高差100メートルを約3分半で登って行く。リフトカーは平成12年に公園がオープンした際に設置され、これまで52万人以上を公園に運んできた。公園の冬季閉鎖が終わり、4月1日からの今シーズンの開園にあわせて新しい車輛「鯉のぼり号」が導入され運行されることとなった。

南八ヶ岳花の森公園は机山の頂上に5.5ヘクタールの公園と農場を整備し、40種類以上の野菜や果樹、花などを栽培しており、季節にあわせた野菜や果物の収穫体験や押し花・ピザなどの制作体験ができる。特に、トマト・りんご・サクランボ・ブルーベリーなどは味も良く、収穫体験だけでなく直売も評判となっている。また、毎年5月に道の駅を会場に、組合員も実行委員になっている「長沢鯉のぼり祭り」が開催され、夏に向けての観光シーズ

ンが本格化する。長田理事長は「農場では地元の組合員が栽培したトマトやトウモロコシなど美味しい夏野菜が採れるので、これからは野菜の収穫体験に一層の力を入れていきたい。北杜市には中部横断道路の建設計画もあり、観光客の国道141号線のアクセスも変わることから積極的に宣伝活動を行い知名度を高めたい。」と今後の事業展開の希望を語ってくれた。



菜の花と長沢鯉のぼり祭り